

国書刊行会

お求めは、お近くの書店にご注文ください。
東京都豊島区巣鴨3-5-18 PHONE 03-917-8287

©SHEILA METZNER

未知の地平線へ向けて、言葉の世界を探険する。

文学の冒険/全15巻

CONTEMPORARY
WRITERS

現代の寓話の絶妙な語り手であるジョン・アーヴィング、現代文学とSFとの境界線を軽やかに越境するトマス・ピンチオン、言葉の魔術師ボルヘス、めくるめく幻想と未知なるものの戦慄に満ちたラテン・アメリカの作家たち、奇抜な着想で読者の度胆を抜くカルヴィーノ・トゥルニエ、SF界の鬼オレム、東欧の知られざるグロテスク・ファンタジーの傑作など、現代文学の最前線から話題作、問題作をセレクトして紹介します。

四六判・上製 予価1500—3500円 毎月配本

‘89年2月より刊行開始

THE LIBRARY OF

THOMAS PYNCHON, REYNALDO ARENAS, STANISLAW LEM...
THESE WRITERS ARE ALL BRAVE ADVENTURERS AND EXPLORERS
IN THE NEW LABYRINTHINE WORLD OF FICTION

言葉の世界の冒険者たち

CONTEMPORARY

ウォーターメソッドマン

THE WATER-METHOD MAN/John Irving
ジョン・アーヴィング(アメリカ)
川本三郎/柴田元幸/岸本佐知子 訳

第1回記本(上・下)各1700円

『ガープの世界』の作者による、猥雑でバワフルな“愉しい”実験小説。
「ウォーターメソッドマン」は大人になりきれない男、ボーガス・トランパーの“調子づれの青春”をコミカルかつシリアスに描いた青春小説である。話はトランパーの現在のニューヨークでの生活から始まる。結婚生活に破れた彼は旧友ラルフの元へころがり込み、映画作りの仕事を手伝っている。話は前後して、古代低地/ルウェー語という冗談のような言葉で書かれた古代神話を研究していた大学院生時代の生活が語られていく。話の随所に、神話、映画のシナリオ、手紙文等がにぎやかにちりばめられ、ユーモラスな誇張、脱線が繰り広げられる。

めくるめく世界

EL MUNDO ALUCINANTE/Reynaldo Arenas
レイナルド・アレナス(キューバ)
鼓直/杉山晃 訳

第2回記本 予価1900円

“言葉の魔力”を取り戻し、小説の新たな可能性が切り拓かれる。
19世紀初頭のメキシコ独立に寄与した怪僧セルバンテ・デ・ミエル師の波乱に満ちた生涯を、“事実あったがままに”、“事実はこうではなかったのが”という推測、“事実がこうであってくれたら”という願望の三つの視点から構成した奇想天外な歴史小説。大胆な異端の説を唱えたために宗教裁判にかけられ、追放、破獄、逃亡を繰り返す。死後もミラにされ見せ物となって世界を廻るというその流転の人生を元に、全編を通じて現実と幻想が混濁した途方もない挿話が次々に物語られる。キューバの亡命作家アレナスの“幻の書”遂に刊行。

WORLD LITERATURE

重力の虹

トマス・ピンチオン(アメリカ)/越川芳明/佐伯泰樹/植野達郎/橋山秀明訳
現代文学とSFとの境界線を軽やかに越境する、謎の作家ピンチオンの全米図書賞受賞作。ジャズ・映画・オカルト・ポルノ・コミック等あらゆる要素が取り込まれた、すれっからしの読者のための百科全書的ファンタジー。

カツィアトを追跡して

ティム・オブライエン(アメリカ)/生井英考訳
ベトナムからパリまでヒッチハイクで旅しようとした脱走兵と追跡者達の奇想天外な物語。彼等が旅路の果てに見出したものはいったい何か。ジョーゼフ・ヘラーの「キャッチ22」と並び称される現代アメリカ小説の傑作。

永遠の薔薇・鉄の貨幣

J.L.ボルヘス(アルゼンチン)/鼓直/清水憲夫/篠沢真理訳
有限の中に無限を構築し、言葉の中に世界を封じ込めようとする“言語の魔術師”ボルヘスが、該博な知識と豊かなイマジネーションを駆使して描き出す幻想とリリスムの世界。晩年を代表する2冊の詩文集を収録する。

天使の恥部

マヌエル・プイグ(アルゼンチン)/安藤哲行訳
現実から逃避しようとする女性によって紡ぎ出される、絶世の美女達が活躍する願望の夢物語。スパイ小説、SFからポルノグラフィのバロディまで含んだ才人プイグの意欲作。美貌の女達が辿る悲しいラヴ・ストーリー。

フリアとシナリオライター

バルガス=リョサ(ペルー)/野谷文昭訳
もしもシナリオライターが重度のノイローゼに陥った場合、ドラマの進行はどうなるか? 各ドラマ間のストーリーは入り乱れ、死んだ登場人物までが突然生き返ってきたりする、スラップ・スティック・コメディの傑作。

精霊たちの家

イサベル・アジェンデ(チリ)/木村榮一訳
透視とテレパシー能力の持ち主である少女クララのエピソードを初め、幻想的なイメージに満ちた魔術的リアリズムの大作。非業の死を遂げたアジェンデ大統領の姪による、「百年の孤独」と並び称される衝撃のデビュー作。

パースの城

ブラウリオ・アレナス(チリ)/半田 渡訳
初恋の少女の死を偶然新聞記事で知った青年ダゴベルトは、その晩死んだ恋人と“もう一人の自分”が登場する夢を見る。それは奈黒の闇の支配する不気味な中世の城を舞台にして、魔物達が跳梁する悪夢の世界であった。

不在の騎士

イタロ・カルヴィーノ(イタリア)/米川良夫訳
「まっぴたつの子爵」「木のぼり男爵」に続く、奔放な空想とユーモアが一体となって絶妙な効果をあげている幻想的な寓話譚。空洞の鏝にすぎない“存在しない騎士”アジール・フォが織りなす荒唐無稽な歴史の物語。

メテオール(気象)

ミッシェル・トゥルニエ(フランス)/榊原三/南條郁子訳
一卵性双生児ジャン=ポールの(秘儀参入)の冒険譚を軸にして展開される壮大なドラマの世界。SF・神話・童話・バロディ等の要素を織り混ぜながら語られる、現代フランス文学の旗手トゥルニエによる現代の寓話。

壇の中の世界

クルト・クーゼンベルク(ドイツ)/前川道介/三宅晶子訳
ブラック・ユーモア、メルヘンのファンタジーからシュールなホラ話まで、ちょっと風変わりな玩具箱のような短編集。“文学のバウル・クレー”と呼ばれるクーゼンベルクの、夢とエスプリに満ちた幻想世界へようこそ。

完全な真空

スタニスワフ・レム(ポーランド)/沼野充義訳
誇大妄想的宇宙論からヌーヴォーロマンのバロディ評まで、16冊の架空の書物を論じたベダンティックな仕掛けに満ちた書評集。「ポスト・ボルヘス的書物」としてカート・ヴォネガット等の絶讃を浴びた異色の作品集。

象

スワヴォーミル・ムロージェック(ポーランド)/沼野充義/長谷見一雄/西成彦訳
イヨネスコ、ベケットと並ぶ前衛劇作家として知られ、漫画家としても名高い、現代ポーランド文学を代表する異能の作家ムロージェックが放つ、ナンセンスとブラックユーモアに満ちたクロテスク・ファンタジーの世界。

そうはいっても飛ぶのはやさしい

イヴァン・ヴィスコチル(チェコスロバキア)/干野榮一/岩崎悦子訳
奇抜なアイデアが絶妙なストーリー・テリングによって語られる、チャベック以降のチェコスロバキアを代表するファンタジー作家のユーモアとペーソス溢れる好短編集。ハンガリーの作家カリンティの幻想短篇を併録する。

※作品タイトル名が変更になる場合がありますがあらかじめご了承ください。